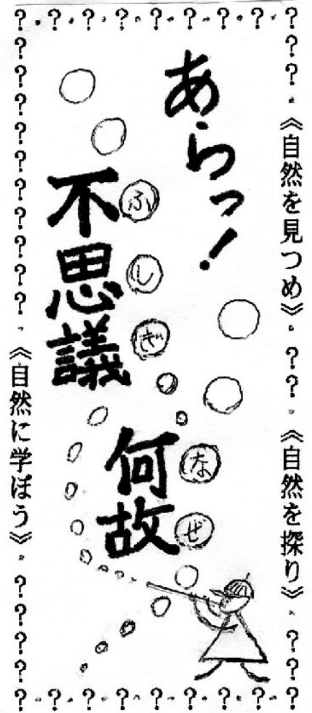


自然談議・科学談議



NO. 38 (通算38)

絵・文・題字 渋谷 一夫

ロッケンのお化け」だ。

私は興奮した。

雲海の上には、富士山の影が長く伸びていた。所謂「影富士」だ。その影富士の頭に、小さな人影が見える。その人影を中心に、虹の輪ができてくる。まるで仏の後光のようだ。

この現象は、昔、ドイツのブロッケン山でよく見られた現象で、誰言うことなく「ブロッケンのお化け」と呼ぶようになったという。

富士山頂では、天気が目まぐるしく変化する。滅多に見られない不思議な自然現象が、時々見られるのだ。

富士山の謎 (9) 山頂でお化けを見た

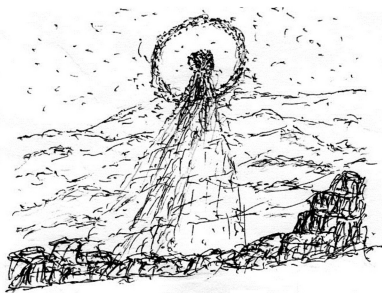
厳冬の富士山頂は複雑怪奇。晴れている時は極楽だが、悪天候になると地獄だ。風は強く毎秒数10m、気温は低く零下数10度だ。山頂周辺は、氷雪がカチカチに凍り付き、荷揚げ作業をする強力(ごうりき)にも支障をきたしている。今回は、その複雑怪奇な現象を2つ紹介する。

一人の男転がり込む

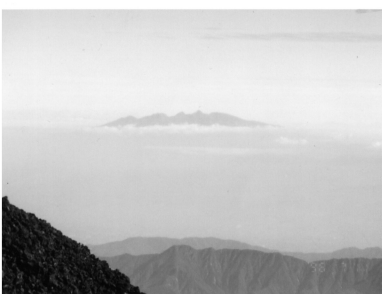
そんな強風吹き荒れる中、ドンドン、バターンと、測候所のドアを叩く音がした。何事かと、測候所員が注意深くドアを開けると、一人の男が転がり込んできた。眉毛、口ひげ、髪の毛、帽子など、霧や水蒸気が凍り付いて真っ白。口も開けない。10分間ほどストーブで暖まると、やがて口を開いた。この男、地元山岳会の会員で、警視庁からの捜査要請で、ある女性を探していたのだ。山頂にはいないことが分かる。と、すぐ下山しようとした。だが、「今は危険だ。風が

本物のお化けが出た

やがて、天気は回復した。富士山の中腹には雲海も広がり、伊豆半島や東京方面も遠望できるようになった。時々、霧が舞い上がるが、まことに素晴らしい情景だ。すると、突然、「渋谷さん、お化けが出たよ…」と声がかかった。あわてて外に出ると、うつすらとお化けらしい影が見えた。紛れもなく「ブ



ブロッケンのお化け(仏の後光)



こんな雲海の上にお化けが出る



山中湖の上。こんな所にお化けが出る

世界に知られた現象